

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 10 日 (2020.9.10)

【公開番号】特開 2020-73510 (P2020-73510A)

【公開日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【年通号数】公開・登録公報 2020-019

【出願番号】特願 2019-230957 (P2019-230957)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4045 (2006.01)

A 6 1 K 31/56 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 K 33/00 (2006.01)

A 6 1 M 15/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/4045

A 6 1 K 31/56

A 6 1 P 25/06

A 6 1 P 37/08

A 6 1 K 33/00

A 6 1 M 15/08

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 30 日 (2020.7.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の鼻ポリープ又は鼻ポリープを有する若しくは有さない慢性鼻副鼻腔炎を治療的に処置するための治療薬であって、

前記治療薬は、第 1 のステップにおいて、マウスピース及びノーズピースを備える送出装置によって $100\mu\text{g} \sim 400\mu\text{g}$ の量で配送されて投与され、かつ、

第 2 のステップにおいて、前記マウスピースが患者の口に配置され、前記ノーズピースが患者の第 1 の鼻孔に配置されると共に、前記第 1 の鼻孔内に前記ノーズピースから出る流体の流れが生成されるよう、患者が前記マウスピースに息を吐き出すことにより、患者の第 1 の鼻道の内部の第 1 の位置に治療量の二酸化炭素が配送され、

前記二酸化炭素は、前記患者の前記第 1 の鼻道の内部の前記第 1 の位置において鼻粘膜の pH を降下させ、

前記第 1 のステップが、前記第 2 のステップの前または前記第 2 のステップと同時に実行される、治療薬。

【請求項 2】

前記第 1 のステップは、前記第 2 のステップの前に実行される、請求項 1 に記載の治療

薬。

【請求項 3】

前記第 1 のステップは、前記第 2 のステップと同時に実行される、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 4】

前記位置は、鼻道の上後領域を含む、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 5】

前記治療薬は、任意選択でフルチカゾン、任意選択でプロピオン酸フルチカゾンの形態であり、任意選択で液体エアロゾルとして投与される、コルチコステロイドを含む、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 6】

前記治療薬は、100 μ gの量で、任意選択で 1 日に 2 回配送される、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 7】

前記治療薬は、200 μ gの量で、任意選択で 1 日に 2 回配送される、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 8】

前記治療薬は、400 μ gの量で、任意選択で 1 日に 2 回配送される、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 9】

前記第 2 のステップは、前記位置における pH を、約 0.01 ~ 約 0.5 pH 単位の範囲の量だけ降下させる、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 10】

前記量は、約 0.1 ~ 約 0.2 pH 単位の範囲である、請求項 9 に記載の治療薬。

【請求項 11】

前記第 2 のステップにおいて、前記流体の流れを制御することによって前記位置における pH が降下されることをさらに含む、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 12】

前記流体の流れの制御は、前記流体の流れの継続時間、流量、圧力、および組成の少なくとも 1 つを制御することを含む、請求項 11 に記載の治療薬。

【請求項 13】

前記流体の流れの継続時間を約 2 ~ 約 3 秒の範囲となるように制御することを含む、請求項 12 に記載の治療薬。

【請求項 14】

前記流体の流れの流量を、少なくとも 10 L / 分、任意選択で少なくとも 20 L / 分、および任意選択で少なくとも 30 L / 分に制御することを含む、請求項 13 に記載の治療薬。

【請求項 15】

前記第 2 のステップにおいて、前記ノーズピースが患者の第 2 の鼻孔に配置されると共に、前記ノーズピースから出る第 2 の流体の流れが生成されるよう、患者が前記マウスピースに息を吐き出すことにより、第 2 の鼻道の内部の第 2 の位置に治療量の二酸化炭素が配送され、

前記二酸化炭素は、前記患者の前記第 2 の鼻道の内部の前記第 2 の位置において鼻粘膜の pH を降下させる、請求項 1 に記載の治療薬。

【請求項 16】

患者の鼻ポリープを有する又は有さない慢性鼻副鼻腔炎を処置する、請求項 1 に記載の治療薬。